

ヨークピア

編集・発行 公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）
発行日 2022年4月5日 262号

日本人 x 外国人 多文化共生のまちづくりを伝える

ヨークピア

262号
2022年4月



<特集>YOKE2021 年度事業のいちおし報告！

横浜市多文化共生総合相談センター Q&A 相談の現場から
多言語での情報発信のご案内



公益財団法人 横浜市国際交流協会（YOKE）

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5階
TEL 045-222-1171（代表）FAX 045-222-1187
E-mail yoke@yoke.or.jp
URL <https://www.yokeweb.com>

2021 年度 いちおし! Good! 私たちの事業 報告

YOKE では、多文化共生のまちづくりにむけて様々な事業に取り組んでいます。2021 年度は新型コロナウイルスの影響で活動に制限があるなか、各事業では工夫と改善を試みながら業務に取り組みました。そのなかでも、みなさまにお伝えしたい成果を紹介します。

多文化共生のまちづくりを支援する事業

『横浜市多文化共生総合相談センター相談の現場から～相談対応事例集～』を刊行しました

横浜市多文化共生総合相談センターの運営事業

11 言語で対応する横浜市多文化共生総合相談センターに年間 4,700 件以上（2020 年度）寄せられた相談から、よくある質問をご紹介します Q & A 集を発行しました。
また、ウェブサイトでは、英語・中国語・スペイン語・ベトナム語・ネパール語でもご紹介しています。
<https://www.yokoinfo.jp/>

横浜市多文化共生総合相談センター相談の現場から～相談対応事例集～
PDF 版は、こちらをご覧ください。
https://www.yokeweb.com/wp-content/uploads/2022/02/sodan_jireishu.pdf



地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

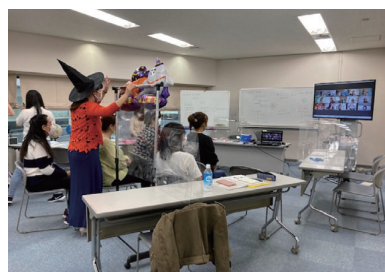
よこはま日本語学習支援センター 情報冊子「にほんごコミュニケーション」バックナンバーはこちらから

よこはま日本語学習支援センターは、昨年 8 月に運営 2 年目に入り、ホームページも充実してきました。情報冊子「にほんごコミュニケーション」では日本語教室での活動や日本語学習に役立つ情報などを掲載しています。やさしい日本語版・英語版とともにどうぞご覧ください。

情報冊子「にほんごコミュニケーション」は、こちらをご覧ください。
<https://yokohama-nihongo.com/magazine>



2 つの YOKE 日本語教室をつなぎ、教室同士の交流を行っています



この日本語教室では、YOKE で行うみなとみらい教室と、オンライン教室の学習者をオンラインでつなげ交流しています。画面越しの自己紹介を通じて、いろいろな国の人と知り合い、皆さんとても楽しんでます！

YOKE 日本語教室については、こちらをご覧ください。
<https://www.yokeweb.com/nihongkyoshitsu/>



日本語学習 コーディネート 事業

ラウンジ連携 事業

市内にある 11 の国際交流ラウンジのみなさんを訪問しました

コロナ禍にあって、オンラインで連絡会を行うとともに、個別訪問して情報交換を行いました。レイアウトの工夫や多言語での情報提供強化、イベントのオンライン化など、どのラウンジも模索しながら歩みをとめずにいました。

各ラウンジのメッセージは、こちらからご覧ください。

<https://www.yokeweb.com/lounge/>



デジタル媒体を活用した多言語情報発信を開始！

facebook、LINE、ウェブサイトなどを活用した多言語情報発信を本格的に開始しました。タイムリーな情報を在住外国人のみなさんに情報をお届けできるよう、工夫しながら発信しています。現在、英語、中国語簡体字、スペイン語、やさしい日本語で発信中です。みなさまのご登録をお待ちしています！

多言語情報発信に関する詳細は、こちらからご覧ください。

<https://www.yokeweb.com/yoke/#toc5>



多言語情報 発信事業

多言語 サポーター 派遣・紹介事業

ICT を用いた遠隔通訳の拡充

コロナ禍においても通訳ボランティア活動へのニーズに対応するため、タブレット端末を増設して行政窓口・相談窓口・小中学校等へ配布し、リモートでの映像通訳を拡充しました。
また、利用者・ボランティアともに安心して利用できるよう、パンフレットの発行や研修会を実施しました。

行政窓口などへの多言語サポーターの派遣・紹介に関する詳細は、こちらからご覧ください。

<https://www.yokeweb.com/tsuyaku/>



外国につながる子どもの学習支援ボランティア研修会

2021 年度は「地域で共に子どもを支え、よりそための支援を考えよう」というテーマで全 3 回実施しました。愛知県豊橋市（第 1 回）、横浜市（第 2 回）の支援体制や具体的な日本語指導の話からヒントを得て、様々な現場にいる私たちがどのようにつながり、子どもたちを支援していけばよいのか、みなさんと一緒に考えました。

外国につながる子ども・若者支援事業に関する詳細は、こちらからご覧ください。

<https://www.yokeweb.com/kodomo/>



外国につながる 子ども・若者 支援事業



国際交流
情報提供事業

「横浜市で多文化共生・国際協力の活動をしている団体データベース」
を公開しました

横浜市内を中心に、多文化共生や国際協力に関する活動をしている団体を検索することができる「横浜市で多文化共生・国際協力の活動をしている団体データベース」公開しました。ボランティア活動に関心があるみなさまが活動場所を探す際の一助となりましたら幸いです。団体掲載も常時募集しています。

横浜市で多文化共生・国際協力の活動をしている団体データベースは、こちらからご覧ください。
<https://www.yokedantai.com/>



YOKE 災害情報サイトをオープンしました

外国人に役立つ災害情報の専用サイト「YOKE 災害情報サイト」（やさしい日本語）が1月5日にオープンしました。日頃の備えや便利なツールの紹介の他、実際に地震や台風等の災害が発生した時には、このサイトに随時、情報をアップしていきます。

「YOKE 災害情報サイト」はこちらからご覧ください。
<https://www.yokesaigai.com/>



外国人の
災害対応事業

国際交流
ラウンジ
運営事業 1

なか国際交流ラウンジ
外国につながる若者の自主制作映画の上映

2019年に「Rainbow スペース」の若者たちが自分たちの経験や想いをもとに映画制作活動を行いました。作品のメッセージが、同じ境遇にいる子ども・若者たちや、支える学校関係者等に伝わり、反響がありました。今回は地域の映画館「ジャック&ベティ」で、より多くの地域住民にも子ども・若者たちの声を伝えました。

なか国際交流ラウンジについてはこちらからご覧ください。
<http://nakalounge.main.jp/>

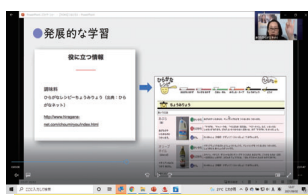


国際交流
ラウンジ
運営事業 2

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
いろいろな事業でオンラインを活用しました

コロナ禍でも事業を続けるため、オンラインや動画の活用を試みました。たとえば市民活動団体が交流する「利用者のつどい」は、オンライン参加と来館参加の併用開催に挑戦。リハーサルの中でつまづきが何度も出ましたが、工夫を重ね、また不慣れな参加者には Zoom 練習会を行うなどして、実施スキルを積み上げています。

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジについてはこちらからご覧ください。
<https://tabunka.minamilounge.com/>



鶴見国際交流ラウンジ共生地域づくり推進事業

子育てをテーマとした共生の地域づくりと地域人材の育成

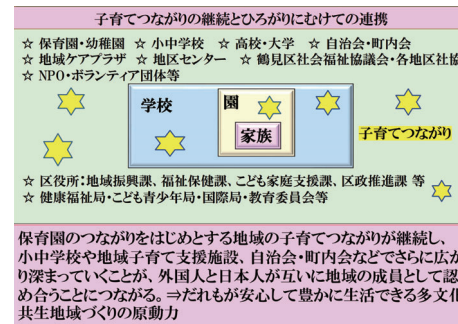
だれもが安心して豊かに生活できる多文化共生のまち（地域）づくりには外国人と日本人が地域の成員として認め合うことが不可欠です。その実現には乳幼児からの子育てつながりの継続が大きな力となると考えています。多文化共生に共感する共生型外国人と日本人の人材育成支援、そして人と人、組織と組織を繋げていく取り組みをしています。

鶴見国際交流ラウンジについてはこちらからご覧ください。

<https://tsurumilounge.com/>



国際交流
ラウンジ
運営事業 3



地球市民事業
1

地球市民事業 青少年グローバル人材育成
YOKE 小学生学習プログラム

横浜国際協力センターの国際機関・団体の SDGs の取組を通じて、地球規模の課題・国際協力・多文化共生について考える出前講座を小学生を対象に開催しました。

新型コロナウイルス感染防止のため、クラスごとにアニメ映像やゲームで授業を行い「子どもにも出来る小さな事からやっていきたい」などの感想が寄せられました。

YOKE 小学生学習プログラム は、こちらからご覧ください。
<https://www.yokeweb.com/students/#toc8>



YOKE 外国語コミュニケーション講座 オンライン授業への奮闘記

コロナ禍でオンライン授業の昨今。今までインターネットをあまり利用していなかった方もさりとオンライン授業に参加することができました。壁が厚く感じた始まりが、うのようにオンラインでできることが増えました。対面で講師や仲間と会うのも、マスクなし笑顔でオンライン外国語会話を楽しめるのも皆さんの小さな勇気と奮闘があったから。いい時間です!!

YOKE 外国語コミュニケーション講座は、こちらからご覧ください。
<https://www.yokeweb.com/gogaku/>



地球市民事業
2

SDGs よこはま CITY に “にじいろ探検隊” が登場 !!

SDGs・国際協力・多文化共生の促進を目指したオンライン イベント「SDGs よこはま CITY」を2月20日（日）に開催し、様々な団体が活動やダンス、料理の紹介、海外中継ライブなど多岐にわたって発信。YOKE では、“にじいろ探検隊” が参加し、苦難を乗り越えて飛躍する若者の活動を紹介しました。「SDGs シティよこはま」については、こちらからご覧ください。
<http://sdgs-yokohama-city.org/>



国際協力・交流に関する
施設を管理運営する事業



横浜国際
協力センター
運営事業

国連の食糧関連 3 機関が横浜に集結

横浜市が国際機関を誘致するために設置した横浜国際協力センターに、昨年 11 月国際農業開発基金 (IFAD) 日本連絡事務所が開設しました。

同センターには、国連食糧農業機関 (FAO) 駐日連絡事務所、国連世界食糧計画 (WFP) 日本事務所があり、国連の食糧関連 3 機関が横浜に集結しました。



横浜国際協力センターに入居している国際機関については、こちらをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/kokusai/kyoryoku/cooperation.html>

© IFAD/GMB Akash



横浜市
国際学生会館
運営事業

聞きたい！知りたい！世界の今「留学生とのオンライン交流会」

中学生から 70 代まで幅広い年代の方々と、11 か国の留学生がオンラインで交流しました。テーマに選んだのはミャンマー、メキシコ、カメルーン、モンゴル、マレーシアの 5 か国。「留学生から生の情報を得られた」「深刻な社会問題を抱える国があることを知り、平和のありがたさに気づいた」などの感想が寄せられました。



横浜市国際学生会館については、こちらをご覧ください。
<http://yoke.or.jp/yish/>



YOKE 事務局長鈴木から

ー 2021 年度事業のふりかえりと 2022 年度へむけて ー

長引くコロナ禍にあっても、外国人住民の暮らしに寄り添い、多文化共生を進めるため、私ども YOKE は前を向いて取り組んでいます。

みなさまのご理解、ご協力を
お願いいたします！



細かなニュアンスを伝えるには対面に勝るコミュニケーションはありませんが、感染状況にあわせ対面とリモートを臨機応変に使い分けながら、安全かつ効果的に事業を進めています。感染症の影響で件数こそ減ってはいますが、お困りごとが減ることはなく、仕事を失った方、PCR 検査や治療を受けたい方など、この時期ならではの切実なご相談も見受けられます。

安心して充実した毎日を過ごすためには、日本語によるコミュニケーションの環境づくりが大切です。母語で入手できる情報も充実させる必要があります。こうした当事者のニーズや地域の実情を的確にとらえ、事業の充実や改善を重ねてまいりました。



今回のご報告は手前味噌かもしれませんが、私どものこの 1 年間の成果をまとめたものです。そして、2022 年度は次期中期計画のスタートを迎えます。一同気を引き締め、横浜の多文化共生推進のために力を尽くしてまいります。引き続き、地域で活動される多くのボランティアや団体、企業、関係機関の皆様のご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人横浜市国際交流協会 (YOKE) 事務局長 鈴木 一博

横浜市多文化共生総合相談センター 相談の現場から



Q

日本語クラスを探しています。自宅に近く、あまり費用がかからないところを希望しています。(ネパール語での相談)

A

日本語を学ぶところには、日本語学校などのほか、たくさんのボランティアによる日本語教室があります。YOKE のホームページでは、営利を目的としない「日本語・学習支援 教室データベース」(<https://yokeweb.jp/>) を公開しており、日本語・英語でお住まいの近くの教室を検索することができます。こうした教室では、費用は無料～1 回 500 円程度など、安価で学ぶことができます。

それぞれの教室には特徴がありますので、レベル (入門・初級～) や目的 (日常生活のため、就労のため、日本語検定試験など)、授業形態 (グループ / 個人レッスン、対面 / オンライン) など、ご自分のニーズにあった学び方を相談してください。

日本語・英語での検索や各教室への問合せが難しい場合は、横浜市多文化共生総合相談センターが教室探しをお手伝いしますので、お気軽にご相談ください。



横浜市多文化共生総合相談センターでは、外国人のみなさんからの質問に 11 言語で対応しています。
お気軽にご連絡ください。 電話 045-222-1209

English



中文



Facebook グループ または LINE に登録すると
横浜市の生活情報を多言語 * で受け取ることができます。
みなさまからの登録をお待ちしております。

* 英語、中国語簡体字、スペイン語、やさしい日本語



横浜の生活情報 よこ yoko

横浜市多文化共生総合相談センター公式 LINE



Español



やさしい日本語



横浜市多文化共生総合相談センター公式 LINE

横浜市多文化共生総合相談センター公式 LINE
では、生活情報配信のほか、相談の対応を行
っています *。

* 個人情報を含む内容は送信しないでください。

